

平成29年4月

福岡市教育委員会
学 校 長 様
小中学校教職員 様

団体名 ふくおか教育を考える会協議会
子どものための表現教育広め隊
代表者 多田 育美

子どもたちのコミュニケーション能力を学校教育において育むための 演劇づくりワークショップ参加のお誘い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私どもは演劇づくりを通じて子どものコミュニケーション能力を育む目的で、学校教育に表現教育を広める活動をしている有志の市民団体、「子どものための表現教育広め隊」です。顧問に平田オリザさんを迎え、2016年に発足いたしました。現在、福岡や佐賀などの学校、大学などで、アクティブラーニング手法としての演劇教育を普及させるための活動を展開しています。本団体の母体「ふくおか教育を考える会協議会」は福岡で41年にわたり、どの子にもゆきとどいた教育を願って活動している会です。

このたび、ふくおか教育を考える会では、7月から2か月間7回にわたって、文科省コミュニケーション教育推進会議の座長を務めた、演出家・劇作家の平田オリザさんをお招きし、コミュニケーションを育むための演劇づくりワークショップを催します。

子ども達のコミュニケーション能力の育成、学級づくり等にお役に立つ研修内容となっておりますので、先生方にご参加いただきますよう、ご提案申し上げます。

内容・募集要項は次ページ以降に記載いたしておりますので、ご参照ください。

記

p 2

- ・取組みの効果
- ・顧問 平田オリザ プロフィール

p 3・4

- ・演劇づくり募集要項と申し込み

<問合せ先 ふくおか教育を考える会協議会>

〒810-0012 福岡市中央区白金 2-9-13-103 TEL : 092-406-4125

E-mail : fkyoiku@helen.ocn.ne.jp URL : fkyoikuco.wix.com/fkyoiku

後援 福岡市教育委員会 筑紫野市教育委員会

■ 取組みの効果

(当会顧問、平田オリザさんが座長を務めた、

平成23年8月29日 コミュニケーション教育推進会議 審議経過報告より)

- 他者認識、自己認識の向上 ふだんは見ることのない他者の一面を見出したり、自分と異なる状況を疑似的に体験したりすることで、他者認識や自己認識の力が向上する。
- 「伝える力」の向上 相互に伝え合うことの喜びに気づき、少しでもうまく伝えたいという意欲により、表現手法が工夫され、「伝える力」が向上する。
- 自己肯定感と自信の醸成 子どもの良い面や優れた面が引き出されたり、子どもたちが互いに多面的に発見・評価されたりすることによって、自己肯定感と自信の醸成がなされる。
- 学習環境の改善 上記の効果により、子どもたちの相互の人間関係が良好になり、学級の雰囲気改善されて、学級全体としての学力が向上する。また、いじめ・不登校、暴力行為などの問題の解決にもつながる。
- 授業改善や学級・学年経営への効果 芸術家等の表現活動の専門家によるワークショップ型の授業は、教員にとって、授業手法や評価方法を見直し、改善する機会となる。また、学級の雰囲気の改善により、学級経営や学年経営が円滑に進む。

■ 子どものための表現教育広め隊

顧問 平田オリザ (劇作家、演出家、元コミュニケーション教育推進会議座長)
 アドバイザー 松永典子 (九州大学教授) 角和博 (佐賀大学教授)

《平田オリザ プロフィール》

平田オリザは、日本の現代演劇界で、いまもつとも注目されている劇作家・演出家です。2002年度以降中学校の国語教科書で、2011年以降は小学校の国語教科書にも平田のワークショップの方法論に基づいた教材が採用され、多くの子どもたちが教室で演劇を創作する体験を行っています。他にも障害者とのワークショップや、自治体やNPOなどと連携した総合的な演劇教育プログラムの開発など、他に例を見ない多角的な演劇教育活動を展開しています。2000年度より桜美林大学で演劇専攻の教授として教鞭を執り、市民社会に開かれた新しい演劇教育の道を開拓。さらに2006年度からは、国立大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授に就任し、社会と演劇の接点を生み出すための研究を開始。ロボット演劇プロジェクトを指導するなど、多彩な活動を続けています。また四国学院大学では、学長特別補佐として、地域の大学における演劇教育の実践に取り組み、2014年からは、東京藝術大学・アートイノベーションセンター特任教授として、新しい教育、研究領域を切り開いています(2015年より東京藝術大学COI研究推進機構 特任教授)。 参考：青年団公式

HP<http://www.seinendan.org/hirata-oriza>

2016年(平成28年)11月25日(金) 毎 日 新 聞

自由な発想で表現力育む



二日市中 筑山中

プロ演劇人が「出前授業」

筑紫野市の二日市中・筑山中で、特別支援学級や校内適応指導教室の生徒たちを対象に、プロの演劇人が講師を務める演劇ワークショップが開かれている。今月中に二日市中4回、筑山中で回を重ねるが、回を重ねるとともに生徒たちも慣れて少しずつ変化が表れている。四中学はそれぞれ自作を作り、今月末から来月上旬に校内で発表する予定だ。(山崎あすき)

作品仕上げ校内で発表へ

ワークショップは市民団体「プロ演劇人が、出前授業」特別支援学級・適応指導教室に、二日市中・筑山中で、特別支援学級や校内適応指導教室の生徒たちを対象に、プロの演劇人が講師を務める演劇ワークショップが開かれている。今月中に二日市中4回、筑山中で回を重ねるとともに生徒たちも慣れて少しずつ変化が表れている。四中学はそれぞれ自作を作り、今月末から来月上旬に校内で発表する予定だ。(山崎あすき)

ワークショップは市民団体「プロ演劇人が、出前授業」特別支援学級・適応指導教室に、二日市中・筑山中で、特別支援学級や校内適応指導教室の生徒たちを対象に、プロの演劇人が講師を務める演劇ワークショップが開かれている。今月中に二日市中4回、筑山中で回を重ねるとともに生徒たちも慣れて少しずつ変化が表れている。四中学はそれぞれ自作を作り、今月末から来月上旬に校内で発表する予定だ。(山崎あすき)